

# 環境にやさしい 車とのつきあい方

自動車の排出ガスによる大気汚染を少なくしていくには、自動車を利用するわたしたち自身の努力が必要です。ここでの提案を参考にして、地球にやさしい自動車の運転を心がけましょう。



## 提案1

### アイドリング・ストップ!

自動車を走らせていないときに、エンジンをかけっぱなしにするアイドリング。意外と不必要な場面でアイドリングしていることはありませんか。

例えば……

・郵便物の投函やクリーニング店での用事、自動販売機やお店でちょっと買い物をするとき

- ・ 荷物の積み降ろしをするとき
- ・ 車の中で人を待っているとき
- ・ 忘れ物を取りに戻るとき
- ……など

不必要なアイドリングは、燃料の無駄になるし、排出ガスによる大気汚染を増加させてしまいます。少しの間でも、車を離れるときは、きちんとエンジンを切りましょう。

ドライバーすべてがアイドリング・ストップを実行すれば、大きな効果につながります。

## 地球温暖化防止にも効果的

アイドリング・ストップは燃料の節約と、地球温暖化の一因である二酸化炭素の排出量削減にもつながります。例えば、日本国内に登録されている自動車約7,000万台すべてが、毎日10分間ずつアイドリングを短縮すると、1年間で、燃料消費は200リットルのドラム缶1,700万本分、二酸化炭素の排出量は約224万トン/年（炭素換算）を減らすことができます。

## 提案2

### 排出ガスの少ない 低公害車に注目!

窒素酸化物（NOx）や二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の排出を抑えた低公害車の開発が進んでいます。現在、電気自動車、天然ガス自動車、メタノール自動車、ハイブリッド自動車などが実用化されており、それぞれ、下表のような環境改善効果が得られます。

低公害車はガソリン車やデ

ゼル車と比べて値段が高いというイメージがありますが、比較的手ごろな価格の小型のハイブリッド自動車が登場し、ぐんと身近になりました。

低公害車を購入する場合には、税金の優遇措置があるほか、融資制度を利用したりすることが出来ます。

これから新しく自動車を買ったり、買い換えたりする方は、こうした制度を利用して、低公害車の購入を検討してみてくださいいかがですか。

## 提案3

### できることから 始めよう

自動車を利用するときは、次のようなことを心がけ、できることから実行しましょう。

- ・ 空ぶかしや急発進、急加速をしない
- ・ 不要な重い荷物をのせたまま走らない
- ・ 定期的に車を整備する
- ・ タイヤの空気圧を適正に

- ・ 通勤で車を利用するときは、相乗りを心がける
  - ・ 短い距離なら徒歩や自転車で移動する
  - ・ 公共の交通機関を利用する
- 車を利用するわたしたち一人ひとりは、大気汚染の被害者でありかつ加害者です。不要な車の使用を控え、使用する際には、環境にやさしい運転を心がけるようにしましょう。

## ●低公害車の環境改善効果

（資料：環境庁）

		NOx排出量	CO <sub>2</sub> 排出量	SPM排出量
電気自動車	バッテリーに蓄えた電気でモーターを回転させて走行	0 発電時を考慮すると10%	0 発電時を考慮すると40~50%	0
天然ガス自動車	圧縮した天然ガスを燃料にして走行	10~30%	70~80%	0
メタノール自動車	アルコールの一種であるメタノールを燃料にして走行	60%	1.1倍程度	0
ハイブリッド自動車	電気とガソリンなど複数の動力源を併用して走行	10~80%	50~90%	0~30%

\*環境改善効果のパーセンテージはディーゼル車等の排出量を1(100%)とした数字です。  
SPM：浮遊粒子状物質

エンジンを こまめに切って クリーンな空気